

# 学ぶ楽しさ

## 歴史探偵

### 岡本太郎と太陽の塔

放送日：2022年7月27日 放送時間：45分

## この番組の良さ



### ● 芸術は爆発だ!

「芸術は爆発だ!」の言葉で知られる、日本を代表する芸術家、岡本太郎の番組です。岡本太郎と聞けば、日本万国博覧会(大阪万博)の太陽の塔を連想する人も多いのではないのでしょうか。

しかし、彼を単なる奇抜な芸術家と称してしまうのは大きな間違いです。岡本太郎は芸術の枠を超え、私たちに生きる意味を問い掛けてくれます。作品を通じて、私たちに何を訴えているのでしょうか?番組では、岡本太郎の功績について振り返りながら、その秘密に迫っていきます。



### ● 大阪万博の顔 太陽の塔

1970年、大阪府吹田市で開催された大阪万博。その跡地に今も燦然と輝き、その圧倒的な姿を人々に見せている太陽の塔。

この太陽の塔は、大阪万博のシンボルと言える作品です。この姿形は何を表現しているのか?どうして生まれたのか?今なお知られざる、塔に秘められた謎を、番組は徹底調査していきます。

そして、次々に明かされる驚きの事実。岡本太郎は、太陽の塔にどんな夢を含め、私たちに問いかけているのでしょうか。



執筆者

徳島県海陽町立海部小学校

指導教諭 **溝内正剛**



対象校種 小学校高学年・中学校・高校

対象教科 図工・美術

## 番組活用のポイント

### ● 人類の進歩と象徴

1970年に、日本でアジア初となる大阪万博が開催されて以来、我が国では5回万博が開催されてきました。そして2025年には、大阪・関西万博が開かれます。

この大阪万博に込められた思いや願いを知ること、当時の日本、そして今の日本、さらに未来の日本を考えるきっかけとなるでしょう。

### ● 3つの顔に秘められた意味



太陽の塔は高さが約70m、幅が約60mもある巨大な塔です。そして独特の存在感を放つのが、塔に施された3つの顔です。

正面、頂上、裏側の3ヶ所に顔が存在します(5分4秒で一時停止)。ここに岡本太郎の美意識が詰まっています。

図工・美術科の作品鑑賞の時間を利用して、この3つの顔に秘められた意味を、創造的に考えるのも良いでしょう。

### ● 心が宇宙に向かって飛び散る

日本を代表する建築家である丹下健三。大阪万博の大屋根を設計した人です。この丹下健三との出会いによって、太陽の塔と大屋根は、1つの大きな作品へと進化していきます。そして二人の異質な交わりによって、人々の心を大きく突き動かす、芸術作品へと変貌を遂げます。

似たようなものを持ってくるより、それを断ち切ったようなもの、つまり調和するより相反することで、その両方が生きるのだと。そんな岡本太郎の考えを理解することで、芸術作品の見方、更には私たちの考え方に変化をもたらしてくれることでしょう。

私たち人間は、同じ人間であっても様々な違いがあります。多様性社会を迎えようとしている今、違いを排除するのではなくお互いに違いを認め合い、人権と尊厳を大事にして生きていく、インクルーシブな考え方は大切です。太陽の塔、そして岡本太郎の生き様を通して、私たちに考えるきっかけを与えてくれます。